

11. 年 表(1)

年度	月	記 事	
2001 (H13)	9	たんけん工房を創る会発足	
	9	電子メール版「たんけん通信」第1号発信 (2002年8月の28号まで続く)	
	11	「ふしぎ発見親子塾」を、湘南台小の協力にて実施 (於:湘南台公民館「モーター」主任:相川)	
	12	湘南台高校主催の「湘南台科学お楽しみ広場」に「モーター」を出展	
	12	NPO 法人認証申請書を所轄庁 (神奈川県) に提出	
	3	鶴洋児童館から依頼され、出前授業を実施「モーターを作る」主任:相川	
2002 (H14)	4	特定非営利活動法人 (いわゆる NPO) 「おもしろ科学たんけん工房」発足 (代表:安田光一)	
	4	湘南台高校「ふしぎ発見塾」開始 第1回 2002/4/20 電池 主任:相川 参加:20名	
	5	第2回 2002/5/18 海坊主とタコ坊主	
	6	第3回 2002/6/15 紙コップスピーカー 主任:柴田 参加費1000円	
		藤沢市主催の「環境フェア 2002」に出展「リモネン (ソニー(株)の協力)」、「シャボン玉作り」、「人力発電」など	
	7	女性フォーラムで「おもしろ理科工作塾」(戸塚塾)が始まる。「磁石と電気のふしぎ/モーターを作る」主任:相川	
		第4回 2002/7/20 モーター 主任:相川	
			自然観察塾「セミのぬけがら調査」を新林公園 (藤沢市) で実施
	8	「おもしろ科学たんけん工房」のロゴマークが出来る  おもしろ科学たんけん工房	
	9	「たんけん通信」創刊 (電子メール版「たんけん通信」を拡充)	
12	ロゴ入りの幟旗 10 本完成		
3	畑尾逸郎氏の尽力によりホームページ開設 (http://park2.wakwak.com/~tanken/) ホームページからの塾申込機能も付加		
2003 (H15)	4	鶴沼中学校での科学体験塾スタートを機に「おもしろ科学体験塾」と名称統一	
	5	鶴沼中学校で「科学体験塾」が始まる。「レモンや食塩水で電池を作る」主任:相川	
	5	鶴沼中学校で学校支援ボランティア活動実施	
	8	科学教育研究協議会第50回全国研究大会で安田代表が「おもしろ科学たんけん工房」の活動実績を発表	
	8	科学体験活動推進スタッフ養成研修をスタート (以後のスタッフ養成研修については「スタッフ養成研修」の項を参照)	
	2	ハイモ(株)の協力により、「水をきれいにする実験」主任:石橋 を湘南台高校の科学体験塾で実施	
	3	明治中学校で「中学生のための模型飛行機教室」を開催。以後、藤沢地区で毎年開催。	
	3	「おもしろ科学体験塾ー水をきれいにする実験」の参加者とその保護者を対象に污水处理場(藤沢市南部浄化センター)の見学会実施	

11. 年 表(2)

年度	月	記 事
2004 (H16)	7	出前塾大繁盛(7～9月に10回を数える)
	7	藤沢市市民活動推進センターの催し「NPOフェア」に協力出展「ミニホーバークラフトを作ろう」参加10団体 来場者200名超 永野小学校夏季チャレンジスクールに参加
	10	フォーラム祭りに協力出展(テーマ:ミニホーバークラフトを作ろう)
	10	永野小学校で「科学体験塾」が始まる。「紙コップで作るヘッドホン」主任:柴田
	3	横浜市が初めて募集する「横浜市との協働事業提案制度 モデル事業」に採用される(科学体験活動推進スタッフ発掘・養成事業)(3年間:2005～2007)
	3	横浜こども科学館で「科学体験塾(実験工作教室)」が始まる。「プラスチックで遊ぼう」主任:宮下
2005 (H17)	5	子どものための科学活動ネットワーク発足会開催
	9	柏陽高校で「科学体験塾」が始まる。「ゲジゲジUF0を作ろう」主任:滝本
	9	横浜こども科学館企画展にたんけん工房「ジェットコースター」を協力出展
	11	相武山地域フェスティバルに参加。以降毎年参加
	2	相武山小30周年記念行事に参加。「静電気モーター、ヘロンの噴水」など(参加者680名)主任:宮下、重田
	3	アートフォーラムあざみ野(田園都市線沿線グループ)で「科学体験塾」が始まる。「ゲジゲジUF0を作ろう」主任:滝本 これが北地区最初の「科学体験塾となる。」 ※「おもしろ科学体験塾」の単年度参加者千名を超える(1,398名)
2006 (H18)	8	横須賀市で初めての出前塾開催(以降毎年数回開催)
	10	青少年のための科学の祭典神奈川大会に出展
	10	横浜東グループ初の出前授業を屏風ヶ浦小学校で実施
	1	第1回全体交流会開催(於:フォーラム南太田 参加者:80名)
	3	第2回全体交流会開催(於:フォーラム南太田 チーム主任制について討議)
		※「おもしろ科学体験塾」の累計開催回数(237回)累計参加人数(5,444名)
2007 (H19)	4	男女共同参画センター横浜北(アートフォーラム)との協働事業「地域出前企画」に応募、選考され、緑区、青葉区での体験塾の拠点となる この年より、男女共同参画センターが協働事業に切り替える
	4	科学体験塾の実施地域拡大と会員の増加に伴い、運営組織を「藤沢地区」「横浜西地区」「横浜北地区」および「横浜東地区」に分割し、それぞれに「代表世話人」を置く
	4	たんけんカレンダー開始(3ヶ月分記載/頁)
	6	岡村小学校で「科学体験塾」始まる。(計4回)「ヘリコプターを作ってみよう」主任:植木 これが以後の杉田小/汐見台小での「科学体験塾」につながる。
	7	工具ノウハウ集 約30項目完成(柴田著作)
	8	栄区民センターの企画「リリースの冒険」に協力出展(以後継続)
	5	白山地区センター(北地区横浜線沿線グループ)で「科学体験塾」が始まる。「磁石と電気のふしぎ/モーターを作る」主任:宮丸
	11	希望が丘小学校(北地区相鉄線沿線グループ)で「科学体験塾」が始まる。「万華鏡を作ろう」主任:田中(政)
3	仲町台地区センター(北地区地下鉄沿線グループ)で「科学体験塾」が始まる。「磁石と電気のふしぎ/モーターを作る」主任:宮丸	

11. 年 表 (3)

年度	月	記 事
2008 (H20)	4	第3回全体交流会（於：フリーフラット野毛山） 杉田小学校で「科学体験塾」が始まる。「ヘリコプターを作ってみよう」主任：田島
	5	汐見台小学校で「科学体験塾」が始まる。「万華鏡を作ろう」主任：小林
	5	定時総会にて、理事定員11～15名、監事定員1～2名への変更を議決 3月定款発効
	10	地域との更なる交流を目指した杉田小学校の「わくわく杉田ワールド」に参加「創造的風力車の工作」主任：田島（以後継続）
		※「おもしろ科学体験塾」の単年度参加者が2千名を超える(2,187名)
		単年度開催回数が百回に迫る（96回）
2009 (H21)	4	第4回全体交流会（於：フォーラム南太田 テーマ数：48件 参加者：81名）
	9	新型インフルエンザ流行により体験塾も手のアルコール消毒などで対応
		※「おもしろ科学体験塾」の累計開催回数が5百回を越える（528回） 累計参加人数が1万人を越える(12,086名)
	11	研修に「工具の使い方」を取り入れる。
2010 (H22)	4	第5回全体交流会（於：フリーフラット野毛山 テーマ数：104件 参加者：101名）
	5	定時総会にて、理事定員13～19名、監事定員1～3名への変更を議決 11月定款発効 地区グループ再編および女性理事増員を見込む
	8	ホームページのリニューアルプロジェクトスタート
	8	汐見台小学校チャレンジデーに参加(以降毎年参加)
	2	湘南台高校の科学体験塾が100回目を迎える。参加児童に記念品（温度計）を配付。 「空気の重さと圧力のふしぎ」主任：小林
	3	東日本大震災発生により体験塾開催一時中止(6会場)
2011 (H23)	4	ホームページのリニューアルなる (http://www.tankenkobo.com)
	4	第6回全体交流会（於：フリーフラット野毛山 テーマ数：60 参加者：90名）
	5	藤沢で「スタッフ養成講座」始まる。
	6	フォーラム南太田（男女共同参画センター横浜南）との協働事業で、南区内の「科学体験塾」（みなみ塾）が始まる。「にじ色の涙を作ろう」主任：的野
	8	青少年のための科学の祭典神奈川大会 出展
	9	フォーラムの「科学体験塾」（戸塚塾）が100回目を迎える。参加児童に記念品（温度計）を配布。「テクテクザウルス」主任：熊谷
	12	みなみ塾を補完するため、六ッ川台コミュニティハウスにて「科学体験塾」（年4回ペース）を始める。「にじ色の涙を作ろう」主任：遠山
		※「おもしろ科学体験塾」の単年度開催回数127回 年度参加人数2,772名 累計開催回数 764回 累計参加人数17,358名

11. 年 表 (4)

年度	月	記 事
2012 (H24)	4	第7回全体交流会（於：フリーフラット野毛山 テーマ数：56 参加者：92名）
		「子ども工作教室」を企画し、募集したが応募者ゼロ。
	5	工房10周年記念誌「子どもたちと10年」刊行（1,200部）
		金環日食観測支援（戸塚区矢部小学校、港南区相武山小学校）
		藤沢地区 科学塾100回目（「にじ色の涙を作ろう！」 鶴沼中学、主任：相坂）
		DVD教材制作プロジェクトスタート
	6	北地区を北1地区、北2地区に分割
		テレビ東京 NEWS アンサー 特集「理科離れを防げ！リカジィ大奮闘」番組取材を受け、白幡小での体験塾「ヘリコプター」の様子が放映される。
	7	工房リーフレット完成（10,000部）
	8	青少年のための科学の祭典神奈川大会に出展（おもしろ科学広場）
	11	東邦大医学部五十嵐先生より顕微鏡11台寄贈を受ける（Nikon、Olympus）。
		認定NPO法人の「仮認定申請」提出
	12	秋葉台小学校4年生の特別授業「開こう科学の扉」－PTA主催で4年生全員
	1	DVD教材制作プロジェクト 発足説明会開催
	1	JAL整備工場見学会開催（北2地区科学体験塾「インドアプレーン」の一環）
学校支援「瀬谷さくら小学校サイエンスクラブ」始まる。		
2	DVD教材制作に関し、日立ボランティア支援プログラム「大きくなる樹」から助成金を受ける。	
3	※新テーマ（複数並行を除く）「磁石とコイル」「指ピアノ」「地震」 ※「おもしろ科学体験塾」の単年度開催回数129回 年度参加人数2,642名 累計開催回数898回 累計参加人数20,000名	
2013 (H25)	4	第8回全体交流会（於：フリーフラット野毛山 テーマ数：22 参加者：102名）
	5	「認定NPO法人」の仮認定の申請を行い、5月20日付で仮認定を取得。
	8	青少年のための科学の祭典神奈川大会に出展（おもしろ科学広場）
	10	東芝未来科学館（川崎市）を会場とした科学体験塾の定期開催計画が決まる。

11. 年 表 (5)

年度	月	記 事
2014 (H26)	4	第9回全体交流会（於：フリーフラット野毛山 テーマ数：26 参加者：106名）
		東芝未来科学館科学体験塾（出前塾）第一回開催（DT01にじいろの涙と色さがし）
	7	工房活動に対し東京応化科学技術振興財団から第1回目・助成金を受ける。
	8	東芝未来科学館夏休みイベント（8/9,10）ミニホバークラフト、ガリガリプロペラ
		青少年のための科学の祭典神奈川大会に出展（おもしろ科学広場）
	10	かながわコミュニティカレッジから「科学体験活動推進 ボランティア養成講座（2015年1月8日から3月26日）」を受託
2	子供サイエンスフェスティバル藤沢大会、おもしろ科学ひろば出展	
2015 (H27)		工房活動交通費往復全額支給開始。
	4	第10回全体交流会（於：フリーフラット野毛山 テーマ数：49 参加者：120名）
		東芝未来科学館出前塾2年目開催（以降毎月開催第2土曜日）：4月度磁石とコイル
	5	拠点構想プロジェクト発足、第1回打ち合わせ開催。（主査：浅井）
	7	工房活動に対し東京応化科学技術振興財団から第2回目・助成金を受ける。
	8	青少年のための科学の祭典神奈川大会に出展（おもしろ科学広場）
	9	藤沢市民会館にて開催の地域活動見本市に出展
	12	横浜市から、認定NPO審査の結果「認定書」を受理する。
	1	東芝未来科学館にて近隣老人会の方々に簡単工作の手ほどきをするサイエンス茶房のトライアルが始まる。
	2	子供サイエンスフェスティバル藤沢大会、おもしろ科学ひろば出展
3	東芝未来科学館春休みイベント出展（クルクルリング、ミニホバークラフト）	
2016 (H28)	4	第11回全体交流会（於：藤沢市民会館 参加者：105名）
		東芝未来科学館出前塾3年目開催（以降隔月第2土曜日開催）
		東芝未来科学館にてサイエンス茶房が正式スタート
		小学3年対象親子ペア参加の体験塾が始まる。
	6	拠点構想プロジェクトのプロジェクト終結報告会開催。
	7	工房活動に対し東京応化科学技術振興財団から第3回目・助成金を受ける。
	8	青少年のための科学の祭典神奈川大会に出展（おもしろ科学広場）
	1	認定NPO法人湘南ふじさわシニアネットの主催する「ライブスタジオかわせみ」に出演。
2	子供サイエンスフェスティバル藤沢大会、おもしろ科学ひろば出展	
2017	5	工房15周年記念誌刊行（1,000部）